

大学等環境安全協議会

実務者連絡会会報

第八号

平成18年3月

目 次

実務者連絡会から	1
第 21 回技術分科会 実務者連絡会企画プログラム報告	2
第 23 回大学等環境安全協議会第 7 回実務者連絡 会企画プログラム報告	2
第 7 回実務者連絡会総会	3
平成 16 年度大学等環境安全協議会実務者連絡会事業報告	4
平成 16 年度大学等環境安全協議会実務者連絡会決算報告	5
平成 17 年度大学等環境安全協議会実務者連絡会事業計画	6
平成 17 年度大学等環境安全協議会実務者連絡会予算執行計画	7
実務者連絡会ホームページについて	8
技術賞候補者推薦のお願い	9
第 8 回実務者連絡会の予定（案）について	10
平成 17, 18 年度実務者連絡会名簿の変更と追加について	11
実務者連絡会申し合わせ	12
平成 17・18 年度実務者連絡会役員	13
平成 17 年度大学等環境安全協議会実務者連絡会名簿（地区別）	14
実務者連絡会におけるプロジェクトの募集について	19

実務者連絡会から

実務者連絡会世話人

武藤 一、平 雅文、鈴木一成、柏木保人

実務者の皆様におかれましては、平成17年度の技術分科会（徳島大）、協議会総会・研修会（名古屋大）に出席され、有意義に過ごされたことと思います。

協議会技術分科会・総会研修会での実務者企画プログラムは、理事会の評価も得て、16年度から連絡会の開催方法を変更して実施しておりますが如何でしょうか？18年度7月の技術分科会（島根大）では17年度と同様、企画プログラムを盛り込むことが理事会で決定しております。連絡会の総会・技術発表・講演等は発足当初、11月協議会総会・研修会の前日（1日）に行っておりましたが、その後、理事の先生方のご意見と実務者連絡会総会で過半数のご支持が得られたことで、現在の開催形式を採っております。

実務者連絡会の構成メンバーは大学等の廃棄物（廃液）処理施設の助手、技術・教務職員・補佐員等、施設部（課）等職員、賛助会員職員など、いわゆる、当該業務の実務にあたっている方々で成り立っております。独法化後の各大学の労働安全衛生に係る（衛生工学）衛生管理者、また、大学等の安全管理、昨年の環境報告書作成についても、センター・施設部系等の連絡会会員が担当している大学等も少なからず存在するものと思われまふ。学内等における処理施設等の業務と同様、実務者の業務も少しずつ多様化してきていることも否めません。実務者は連絡会会員であると同時に、大学等環境安全協議会会員であります。11月連絡会総会では、連絡会のあり方についてご意見をいただきました。連絡会の開催方法（開催形式、内容等）についても大いなるご意見等をお待ちしております。

なお、下記に協議会会則2条（目的）と連絡会申し合わせ第2項（下線部）を記載します。ご参照下さい。

協議会会則2条（目的）：

「この会は、・・・において、環境・安全マネジメント、安全衛生管理及び環境安全教育を徹底するため、大学等における環境保全施設業務、学生並びに教職員の安全衛生管理業務、教育、研究、医療等の諸活動に伴って使用される化学物質等の管理業務、その結果発生する有害な廃棄物の処理業務、環境安全教育等に携わる教職員が、その連携を密にし、管理の方法、技術及び教育に関する研修並びに環境保全施設、安全管理組織等の管理運営に関する情報を交換し、・・・目的とする。」

連絡会申し合わせ第2項：

「大学等において、廃棄物の処理に関与する技術者を中心とした、・・・が、その連携を密にし、環境安全施設等の管理運営に関する諸情報を交換し、会員相互の・・・を目的とする。」

第21回技術分科会 実務者連絡会企画プログラム報告

大学等環境安全協議会第21回技術分科会において、第7回実務者連絡会の一部として2時間程度の連絡会企画プログラムを実施致しました。下記報告要旨は協議会会報（第23号、平成18年3月）に掲載されます。

日時：平成17年7月29日（金）午前10時～11時50分

場所：徳島大学 長井記念ホール（蔵本地区）

議題：

技術報告

1. 鉄粉法廃液処理施設におけるセレン系廃液処理の試み
筑波大学環境安全管理室 柏木 保人
2. 有機廃液管理体制の確立に向けて
岡山大学安全衛生部安全衛生課環境安全係 秋吉 延崇

事例報告 「定期メンテナンスの必要性－既存処理施設の耐用年数を延ばす－」

1. 濃厚廃液処理装置における定期メンテナンスについて
NEC ファシリテイズ(株) 牟田 英明
2. 同和式鉄粉法廃液処理装置のメンテナンスについて
テクノクリーン 小林 満

第23回大学等環境安全協議会 第7回実務者連絡会企画プログラム報告

大学等環境安全協議会 第7回実務者連絡会を、大学等環境安全協議会研修会第一部として開催致しました。下記講演、ディスカッション要旨は協議会会報（第23号、平成18年3月）に掲載されます。

日時：平成17年11月24日（木）午前10時15分～午後12時30分

場所：名古屋大学 IB 電子情報館 東棟2階 IB 大会議室

議題：

1. 大学における薬品管理に関する講演

1) PCB 廃棄物の処理について

日本環境安全事業（株） 参与・営業部長 村田 省三

2) 労働安全衛生マネジメントシステムの概要・改善事例の紹介

興研（株） 労働衛生コンサルタント事務所 岩崎 毅

3) 薬品管理支援システム－TULIP その後－

富山大学 水質保全センター 川上 貴教

2. パネルディスカッション

「独法化後の実験系廃棄物の自前・外注処理の課題と今後について」

パネリスト

筑波大学 環境安全管理室 柏木 保人

浜松医科大学 医療廃棄物処理センター 鈴木 一成

京都大学 環境保全センター 真島 敏行

新潟大学 廃棄物処理施設 大泉 学

早稲田大学 環境保全センター 仲川 広

司会

秋田大学 環境安全センター 武藤 一

第7回実務者連絡会総会

第7回実務者連絡会総会を下記議題にそって審議いただきました。

連絡会の構成、あり方について、また、連絡会繰越金、使途等についてご提言がありました。世話人一同、この貴重な提言を踏まえ、慎重に事業計画を実施してまいりますので、ご指導、ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

日時：平成17年11月24日（木）午後15時～午後15時30分

場所：名古屋大学 IB 電子情報館 東棟2階 IB 大会議室

議題：

- (1) 平成16年度事業報告及び決算報告
- (2) 平成17年度事業計画及び予算案
- (3) その他

平成16年度大学等環境安全協議会実務者連絡会事業報告

- **平成16年7月23日 実務者連絡会企画プログラムの実施**
第20回大学等環境安全協議会技術分科会において実務者連絡会企画プログラムを実施した。
日時：平成16年7月23日（金）午前10時～11時50分
場所：金沢エクセルホテル東急
議題：全体ディスカッション
「国立大学法人化後の諸問題についての情報交換」

- **平成16年8月 「法人化後の環境安全施設と労働安全衛生についてのアンケート」を実施した。**

- **平成16年11月9日 第6回実務者連絡会を開催**
第22回大学等環境安全協議会総会及び研修会において実務者連絡会を開催した。
日時：平成16年11月9日（火）午前10時20分～午後2時45分
場所：京都大学 百周年時計台記念館 国際交流ホール
議題：
 1. 実務者連絡会世話人挨拶
 2. 研修会
 - 1) 報告「法人化後の環境安全施設と労働安全衛生について」のアンケート結果について
 - 2) 事例報告
 - (1) 岡山大学における安全衛生管理（環境安全係業務）
 - (2) 名古屋工業大学における衛生管理者・衛生工学衛生管理者・作業主任者の業務について
 - (3) 浜松医科大学における衛生管理者・作業主任者の業務について
 - (4) 大分大学有機則除外申請の手続きについて
 - (5) 高エネ研における作業環境測定士の業務について
 - 3) 全体ディスカッション「労働安全衛生対応をどう進めるか」
 3. 実務者連絡会総会
 - (1) 平成15年度事業報告及び決算報告
 - (2) 平成16年度事業計画及び予算案
 - (3) 平成17年度18年度役員紹介
 - (4) 実務者連絡会功労賞の贈呈
 - (5) 実務者連絡会名簿について
 - (6) その他

- **平成17年3月 実務者連絡会会報第7号発行**

平成16年度大学等環境安全協議会実務者連絡会決算報告書

平成17年3月31日

事項	予算額	明細	備考
(収入)			
	円		
前年度繰り越し	405,312		
実務者連絡会活動費	300,000		大学等環境安全協議会より
預金利息	3		
収入計	705,315		
(支出)			
	円		
第6回実務者連絡会 (協議会研修会1)	8,777	4,987 3,790	功労賞記念品代1名 事務用品
調査費	18,271	1,171 17,100	アンケート調査印刷代 アンケート調査送付代
会報	194,540	157,500 37,040	会報印刷代 (会報第7号、250部印刷) 会報送付代
銀行手数料	0		
予備費	483,727		
支出計	705,315		

平成17年 4月 20日

上記のとおり相違ありません。

幹事 吉崎佐知子 

平成17年度大学等環境安全協議会実務者連絡会事業計画

・平成17年7月29日 実務者連絡会企画プログラムの実施

第21回大学等環境安全協議会技術分科会において実務者連絡会企画プログラムを実施する。

日時：平成17年7月29日（金）午前10時～11時50分

場所：徳島大学 長井記念ホール（藤本地区）

議題：技術報告

- ・鉄粉法廃液処理施設におけるセレン系廃液処理の試み
- ・有機廃液管理体制の確立に向けて
- 事例報告「定期メンテナンスの必要性—既存処理装置の耐用を延ばす—」
- ・濃厚廃液処理装置における定期メンテナンスについて
- ・同和式鉄粉法廃液処理装置のメンテナンスについて

・平成17年11月24日 第7回実務者連絡会を開催

第23回大学等環境安全協議会総会及び研修会において研修会第1部実務者連絡会企画プログラムを開催する。

日時：平成17年11月24日（火）午前10時15分～午後12時30分

場所：名古屋大学 IB 電子情報館 東棟2階 IB 大講義室

議題：I. 大学における薬品管理に関する講演

- ・PCB 廃棄物の処理について
- ・労働安全衛生マネジメントシステムの概要・改善事例の紹介
- ・薬品管理支援システム—TULIP その後—

II. パネルディスカッション

「独法化後の実験系廃棄物の自前・外注処理の課題と今後について」

III. 実務者連絡会総会（午後15時00分～15時30分）

- ・平成16年度事業報告及び決算報告
- ・平成17年度事業計画及び予算案
- ・その他

・平成18年3月 実務者連絡会会報第8号発行

平成17年度大学等環境安全協議会実務者連絡会予算執行計画

平成17年11月24日

事項	予算額	明細	備考
(収入)			
	円		
前年度繰り越し	483,727		
実務者連絡会活動費	300,000		大学等環境安全協議会より
預金利息	0		
収入計	783,727		
(支出)			
	円		
第7回実務者連絡会	30,000	30,000	講演謝金
		5,000	事務用品
会報	140,000	100,000	会報印刷代 (会報第8号、150部印刷)
		40,000	会報送付代
銀行手数料	0		
予備費	613,727		
支出計	783,727		

実務者連絡会ホームページの活用について

平成16年にホームページを開設しております。益々のご意見、情報交換の場として活用下さいますようお願い致します。

実務者連絡会ホームページについて

世話人 鈴木一成

現在、実務者連絡会では京都大学本田さんをお願いして「実務者連絡会ネットワーク」を開設しております。原則的に非公開でyahoo等では検索できませんので、次のURLを記入してご利用下さい。

(<http://eprc.kyoto-u.ac.jp/giren/daihai.htm>)

内容は次のとおりです。

1. ネットワーク（技術者名簿）

実務者連絡会役員名簿を掲載してありますので、各大学等への連絡にご利用下さい。

2. 事故事例集

次ページの事故事例集を掲載してありますので、ご参照下さい。ただし、パスワードが必要です。参照される方は連絡下さい。

3. 掲示板

実務者連絡会の会員の方が自由に発言できるように、作成しました。困っていることやちょっとしたアイデアなど、どんなことでもご投稿して下さい。

4. お知らせ

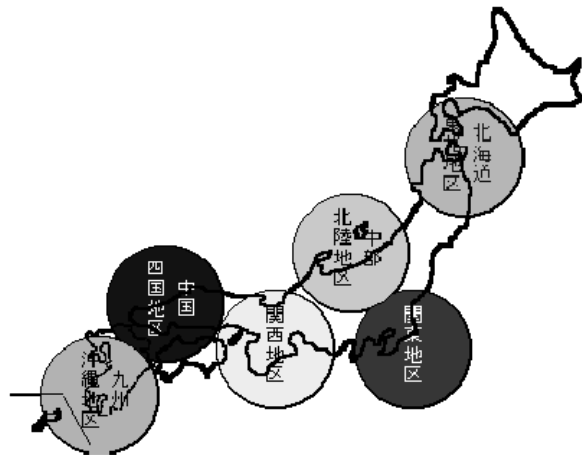
実務者連絡会等のお知らせを掲載してあります。

5. アンケート

実務者連絡会で行ったアンケート結果を掲載してありますので、ご参照下さい。

6. 各処理施設ホームページへのリンク

各大学等のホームページをリンクさせていただきました。



技術賞候補者推薦のお願い

世話人 武藤 一・平 雅文

実務者連絡会に参加されているみなさまに、大学等環境安全協議会技術賞候補として適正な方を、自己推薦も含め、世話人に連絡下さるようお願いいたします。なお、次に掲載した協議会の「技術賞内規」と「技術賞受賞者」をご参照下さい。

・技術賞内規

第1条 本協議会に技術賞を設け、多年にわたり大学等における環境安全監理、教育、研究、医療等の諸活動に伴って使用される化学物質等の管理、及びその結果発生する有害な廃棄物の処理に携わり、または環境安全監理に欠くべからざる機械、器具ならびに試薬などの製造及びサービスの実務に従事して、廃棄物処理技術の向上及び環境安全施設等の管理運営に功績のあった者にこれを贈呈する。

第6条 前条によって推薦される者は、多年にわたり第1条の実務に従事し、本協議会個人会員のうちの技術系職員である者、又は団体会員及び賛助会員に所属する技術系職員である者とする。

受賞年	氏名	受賞時所属団体	受賞年	氏名	受賞時所属団体	
1989	小森均平	名古屋大学	1999	平田まき子	加計学園岡山理科大学	
1990	岩崎隆昌	NEC 環境エンジニアリング		武藤 一	秋田大学	
	藤元数尊	岡山大学		山岸俊秀	八戸工業高等専門学校	
1991	矢坂裕太	大阪大学	2000	圖師比呂彦	香川大学	
1992	井勝久喜	信州大学			平 雅文	高エネルギー加速器研究機構
1993	柏木保人	筑波大学			本田由治	京都大学
1994	真島敏行	京都大学	2001	木村利宗	同和鉱業	
1995	奥墨勇	埼玉大学			田平泰広	長崎大学
	小山建夫	早稲田大学			長谷川紀子	東京工業大学
	前田芳巳	琉球大学		若林和夫	東京都立大学	
	渡邊広幸	NEC 環境エンジニアリング	2002	新井 智	早稲田大学	
1996	梅本健志	鳥取大学			荻野和夫	群馬工業高等専門学校
	亀田紀夫	北海道大学			田中雅邦	岡山大学
	小泉善一	玉川学園	2003	吉崎佐知子	金沢大学	
	首藤征男	熊本大学			岩原正一	筑波大学
	藪塚勝利	群馬大学			山田剛志	NEC アメニプランテクス
1997	市川良夫	姫路工業大学	2004	伊藤通子	富山工業高等専門学校	
	大泉 学	新潟大学			佐藤延子	東北大学
	菅野幸治	山形大学			重里豊子	神戸大学
	浜本健児	関西医科大学		西 利次	アサヒブリテック	
	三品佳子	宮城教育大学	2005	小沢宗良	島根大学	
1998	城 義信	NEC 環境エンジニアリング			白川久栄	首都大学東京
	鈴木一成	浜松医科大学			川口 聡	(有) 環境産業
	長井文夫	筑波大学			片山能祐	NEC ファシリテーターズ
	宮下維文	兵庫医科大学				

第8回実務者連絡会の予定（案）について

世話人 武藤 一・平 雅文

第22回技術分科会第8回実務者連絡会企画プログラム（第一部）

日時：平成18年7月28日（金）午前10時～11時50分

場所：島根大学

演題：技術報告2（PCB、ダイオキシン、アスベストの話題）

事例報告2（作業環境濃度等の調査結果）

*実務者の方に報告を募集し、講演して頂く。

第24回協議会研修会第8回実務者連絡会企画プログラム（第二部）

及び総会

日時：平成18年11月9日（木）午前10時15分～午後12時30分

場所：東京農工大学

実務者連絡会企画プログラム第二部（案）

プログラム1

講演（2題）

プログラム2

討論会

日時：平成18年11月10日（木）午後15時～午後15時30分

実務者連絡会総会

事業報告・事業計画等

みなさま方の中で、技術・事例報告したいこと、聞きたい講演などがございましたら、各世話人までお知らせ下さい。

【ファックス送信状】

平成 年 月 日

大学等環境安全協議会実務者連絡会世話人 武藤 宛
(FAX 018-884-6453)

平成17, 18年度実務者連絡会名簿の変更と追加について

1. 変更・追加： 大学等名 _____
所 属 _____
氏 名 _____
連 絡 先：郵便番号 〒 _____
住 所 _____
電話番号 _____ , FAX番号 _____
e-mail _____

2. 変更・追加： 大学等名 _____
所 属 _____
氏 名 _____
連 絡 先：郵便番号 〒 _____
住 所 _____
電話番号 _____ , FAX番号 _____
e-mail _____

3. 変更・追加： 大学等名 _____
所 属 _____
氏 名 _____
連 絡 先：郵便番号 〒 _____
住 所 _____
電話番号 _____ , FAX番号 _____
e-mail _____

実務者連絡会申し合わせ

平成 11 年 1 月制定

平成 15 年 11 月改正

1. 大学等環境安全協議会実務者連絡会(略して実務者連絡会)と称する。
2. 大学等において、廃棄物の処理に関与する技術者を中心とした、環境安全の実務に携わる会員(略して実務者)が、その連携を密にし、環境安全施設等の管理運営に関する諸情報を交換し、会員相互の資質の向上をはかることを目的とする。
3. 会員は、大学等環境安全協議会(略して大環協)の個人会員、団体会員または賛助会員に所属する者によって構成される。
4. 会員は主として実務者を対象とし、原則として教員、課長相当以上の者は入会出来ない。
5. 実務者連絡会は大環協内に設置し、適宜大環協に援助を仰ぐ。
6. 大環協担当理事は、大環協理事会によって決定され、世話人を兼ねる。
7. 実務者連絡会の代表は、大環協担当理事の互選によって決定し、会務を総括する。
8. 全国を6つのブロックに分け、各ブロックにブロック長1名、副ブロック長1名を置く。また、監査とホームページ作成委員を若干名置く。
9. 大環協担当理事以外の世話人を若干名置き、役員(正・副ブロック長、監査等)については、大環協担当理事・世話人のもと、会員の互選による。
10. 役員任期は2年とし、再任を妨げない。
11. 長年にわたり大学等において廃棄物処理等環境安全の実務に従事し、定年退職された方若しくは一年以内に定年退職見込みの方で、かつ、役員等により大学等環境安全協議会実務者連絡会に貢献があった方に実務者連絡会功労賞を贈呈する。
12. 平成 10 年度発足し、翌平成 11 年度より実務者連絡会を毎年開催し、会報を発行する。
13. 経費は、大環協で決められた範囲でまかなう。
14. 決算は、監事の監査を経て、実務者連絡会に報告する。
15. この会の内容は、大環協にて報告する。

平成17・18年度実務者連絡会役員

役職名	ブロック名	氏名	大学等名
世話人（大環協理事）		武藤 一	秋田大学
世話人（大環協理事）		平 雅文	高エネルギー 加速器研究機構
世話人		鈴木一成	浜松医科大学
世話人		柏木保人	筑波大学
ブロック長	北海道・東北地区	亀田紀夫	北海道大学
副ブロック長	北海道・東北地区	武藤 一	秋田大学
ブロック長	関東地区	柏木保人	筑波大学
副ブロック長	関東地区	平 雅文	高エネルギー 加速器研究機構
ブロック長	中部・北陸地区	大泉 学	新潟大学
副ブロック長	中部・北陸地区	伊藤通子	富山工業 高等専門学校
ブロック長	関西地区	真島敏行	京都大学
副ブロック長	関西地区	重里豊子	神戸大学
ブロック長	中国・四国地区	田中雅邦	岡山大学
副ブロック長	中国・四国地区	平田まき子	加計学園
ブロック長	九州・沖縄地区	前田芳己	琉球大学
副ブロック長	九州・沖縄地区	田平泰広	長崎大学
監査		吉崎佐和子	金沢大学
ホームページ作成委員		本田由治	京都大学

実務者連絡会におけるプロジェクトの募集について

実務者連絡会世話人

武藤 一、平 雅文、鈴木一成、柏木保人

18年度に実務者連絡会の活動の1つとして、実務者が企画するプロジェクトを1,2採択し実施したいと考えております。下記、連絡会申し合わせ事項の目的にありますように、主に環境安全施設等の管理・運営に関するプロジェクトを募集します。1件あたり20万円程度を予定しております。プロジェクトの題名・目的、構成、経費等をA-4数枚にまとめ(word等)、世話人 武藤 (hmutu@med.akita-u.ac.jp) に、18年4月末までメールでお申し込み下さい。採択結果は後日メールで代表者に連絡致します。下記に17年度に提案のあった事例を参考までに掲載します。

連絡会申し合わせ第2項：

「大学等において、廃棄物の処理に関与する技術者を中心とした、・・・が、その連携を密にし、環境安全施設等の管理運営に関する諸情報を交換し、会員相互の・・・を目的とする。」

事例：「特殊廃液処理施設理解推進プロジェクト」

大学での廃液の自前処理が減りつつある現状では、安心して処理を依頼するためにも、事前に処理事業者の施設や技術を理解することが、廃棄物処理に携わっている者の任務の1つとなっています。各大学でも処理業者の施設見学など盛んに行われていると考えますが、全種類の廃液に関する委託処理業者の処理の実際を、実務者が十分に理解できていない現状もあるのではないのでしょうか。特管物として通常外注委託処理する廃液については、各大学等で、業者からの説明や施設見学などをおして相互理解も進んできていると思いますが、一部の特殊廃液（水銀など）の委託処分先の間・最終処理・処分の現状等については、今だ、十分とはいえないと思われます。いずれにしても、大学等から大量の廃液を委託している業者の処理・処分業務の実態を各大学等実務者で理解の共有が必要と考えます。

具体的には、

1. 大学からの廃液について、特殊廃液等の委託業者の検討と下記2,3の依頼。
2. 分科会等で処理・処分等の現状・特徴などを紹介していただく。
3. ビデオ等を作成し、各大学等間で共有物として環境保全教育等で利用できるようにする。(主目的)